

令和6年度北九州市立沼小学校学校経営方針（全体構想）

◇ 学校教育目標 ◇ **チャレンジ!?沼っ子**

「自ら考え、正しく判断し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童」の育成

【目指す子ども像】

「チャレンジ精神を持ち主体的に課題を解決していく子ども」

- 自ら学び、考え、正しく判断し課題を解決していく子ども（知）
- すすんで「挨拶」し「思いやりの心」をもった子ども（徳）
- 生き生きと活動し、心身共に健康でたくましく育つ子ども（体）



今年の「チャレンジ」キーワード

「挨拶・掃除・時間・あったか言葉」

（学校教育目標達成のためのキーワード）

課題を見出す→解決の見通しを立てる→**チャレンジ**→振り返る
委員会・係活動などで子どもの「チャレンジ」の場の設定→

子どもが育つ工夫を

【目指す教師像】

- チーム沼小の一員として子どものこと一番に考え行動できる職員集団
- 高い専門性を持ち、情熱ある教職員
- 信頼される教職員
- 危機管理意識を持ち安全安心な学校を作る教職員
- 互いに研鑽し自らの資質能力を高める

【目指す学校像】

通って、通わせて、働いてよかった学校

- 子どもが生き生きと、楽しく生活できる学校（友達や教師と心がつながる）
- 礼儀正しく、あいさつ、言葉遣い、自主的行動がしっかりできる学校
- 保護者や地域から信頼される学校
- 子どもが健康で安全・安心な学校
- 教職員がやりがいと誇りを持ち学びあう学校

学力の向上

自ら学び、考え、正しく判断し課題を解決していく子ども（知）

- （重点目標）
- 1 学習規律の徹底（沼小スタンダード）
 - 2 学力の向上
 - 3 読書および家庭学習が60分できる子ども（具体的手だて）
- 教師の授業力の向上→学校力
 - 学びの質を高める授業づくり 4つのステップ 授業5つのポイントの日常化
 - 1時間の授業を大切に
 - 単元全体を通したPDCサイクルを生かした指導と評価を行う
 - 専科指導・一部教科担任制の推進（5.6年）
 - 4 年生にも一部導入
 - 校内研修の充実
 - 隙間時間の読書活動の推進
 - ★ICTのより効果的な活用方法の推進
 - 授業の中でGIGA端末を毎日使っていると実感できるように
 - 補充的な学習・基礎・基本の定着
 - ★学習規律の全校的統一
 - ★AIを用いた個別最適型 家庭学習の習慣

心の教育

すすんで「挨拶」し「思いやりの心」をもった子ども（徳）

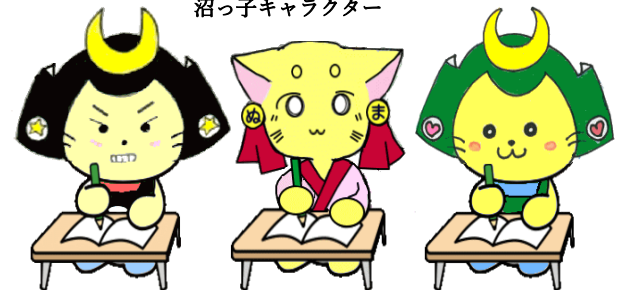
- （重点目標）
- 1 気持ちの良いあいさつができる子ども
 - 2 「あったか言葉」が言える子ども
 - 3 学校が楽しいと感じる子ども
 - 4 掃除ができる子ども（具体的手だて）
- あいさつ名人級取の取り組み
 - 帰りの会・朝の会でのほめる・認める・認め合う・見つけあう自己肯定感の向上を図る
 - 「北九州子どもつながりプログラム」「明日への伝言版」などによる推進
 - 係活動・委員会活動等の常時活動の積極的・自主的活動の推進
 - 生徒指導・特別支援教育部会の定例的实施
 - 学校間・校種間の相互理解・連携の推進
 - 報告・連絡・相談・確認の徹底

体力の向上

生き生きと活動し、心身共に健康でたくましく育つ子ども（体）

- （重点目標）
- 1 体育の授業で「できた」と感じる子ども
 - 2 ルールやマナーを守ることができる子ども
 - 3 食育も体づくりの役割という意識もつ子ども（具体的手だて）
- ICTを用いた問題解決的な授業づくり
 - 自分の動きを視覚的に見て学びあい、技能向上をめざす
 - 保健室・遊び方のマナー忘れ物・提出期限などのルールの徹底
 - 遊び中での体力向上を図る場の工夫
 - 食物アレルギー対応給食の安全徹底

沼っ子キャラクター



友吉

こよし

にやかよし

特別支援

- （重点目標）
- 全校児童にかかわる視点をもった教育（具体的手だて）
- インクルーシブ教育・ユニバーサルデザインの推奨
 - コーディネイターを中心とした体制づくり
 - 合理的配慮についての校内検討
 - ★SC、SSW等関係機関との連携（ケース会議）

長欠・不登校対策

- （重点目標）
- 不登校児の居場所づくり
- 家庭訪問を含めた家庭との連携（具体的手だて）
- 教室に上がれない子どもの居場所づくり（ステップアップ教室設置）
 - ★不登校支援センター、SC、SSW等関係機関との連携

小中一貫教育の推進と保護者地域との連携

- 地域の実態に応じた特色ある取り組み
- 9年間を見通した5.6年中1の取り組み実施
 - 北九州市型コミュニティ・スクールとして地域と連携した行事の実施
 - 出会った保護者に良いことを発信する
 - 保護者に寄り添いともに育てる姿勢
 - ★地域を知り、参加し好きになる体験

健康・保健・安全

- けがは当日保護者に連絡
- 8:35までに健康観察、40分までに居場所確認
- 2日以上の不登校・無断欠席は家庭訪問
- 感染症予防対策、フッ素の実施

防災教育

- 毎月の確実な安全点検（けがを防止する環境と生活指導）
- 下校時間の徹底
- 校外学習の事前に届け（安全面の徹底）

業務改善

- 定時退校日の徹底（全職員45時間の実行）・行事の精選と見直し
- ワークライフバランスの推進
- ★ICT機器の積極的使用 校内環境整備